

懇話会のご案内

世界経済フォーラムや国連が発表しているIT活用度や電子政府のランキングで、わが国が20位前後で低迷しているのに対して、デンマークをはじめとする北欧諸国が常に上位を占めていることは、すでによく知られています。北欧諸国の競争力を際立たせている特筆すべき開発のプロセスとして、ステークホルダが広く参加型で合意形成を進めていく“参加型デザイン”が挙げられます。今回の懇話会では、多年にわたりデンマークに在住して参加型デザインの研究・教育と実践に携わられている安岡美佳氏をお招きして、その真髓をお話し頂きます。

多数の皆様のご出席を期待しています。

1. 日時：2014年3月17日（月）18時～20時30分
2. 場所：専修大学 神田校舎1号館4階 ゼミ室42

3. 講師：安岡美佳氏

コペンハーゲンIT大学 Interaction Design 研究グループ(IxD)プロジェクトリーダー、国際大学グローバルコミュニケーションセンター客員研究員、JETROコンサルタント。慶應大学で図書館情報学学士を取得後、京都大学大学院情報学研究科にて社会情報学を専攻し修士号を取得。東京大学工学系研究科先端学際工学博士課程を経て、コペンハーゲンIT大学より博士号を取得。京都大学大学院情報学研究科Global COE研究員などを経て現職。

専門分野は、Human Computer Interaction、Computer Supported Cooperative Work、情報システム、デザイン手法。異文化協調作業支援、創造性支援、北欧におけるITシステムと参加型デザインに関心を持つ。

4. 講演テーマ：北欧の社会システム構築に見られる参加型デザインの理論と実践
—日本の情報システム学への示唆—
5. 講演内容：北欧諸国は、社会におけるICT活用、イノベーションの分野で高い国際競争力を示している。この目覚ましいイノベーション国家構築を可能にした理由の一つに、北欧発祥の参加型デザインがあると言われる。今、なぜ参加型デザイン手法による情報システム開発が求められるのか、そもそも参加型デザインとはなにか、といった切り口から北欧の情報システムデザイン方法論を概観する。また、方法論を活用した事例として、参加型デザインの切り口から、北欧の社会システムや情報システム構築の実践について報告する。

参加希望の方は以下のメールアドレスにメールを下さい。

kmasaaki@kainosho.com